

令和3年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日： 11月25日(木)

会場： 神杉コミュニティセンター

1. 地域の防災

項目	参加者の発言	市の発言
避難訓練・自主防災組織について	<ul style="list-style-type: none"> ・12月12日(日)に7回目の避難訓練を実施する予定。コロナのため人数制限を行い、28地区から一人ずつ参加していただく。 ・自主防災組織について、消防団長と防災士2名に理事として入ってもらった。 ・自主防災組織はボランティアであり、災害時に消防団のように活動することはできないので、防災委員には、声掛け(安否確認)と体制づくりに関わってもらっている。 ・昨年、市から避難情報が出されたら自主的に避難するよう呼びかけている。 ・まずは各家庭で防災について話し合ってもらい、自治会や常会と連絡網を共有して、高齢者や孤立している人などへの声掛け体制を作りたいと考えている。 ・自治会に入ってもらえない方々の安否確認をどうするのが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の取組は始まってまだ間がないことから、各地域でそれぞれの課題を持っておられる。そもそも防災は自主防災組織任せではなく、市民一人ひとりに防災意識を向上していただくことを基本として、地域に合った自主防災活動に取り組んでいただきたい。 ・県が推進している「ひろしまマイ・タイムライン」は、災害の危険性を把握し、避難経路や避難方法等を紙に書いてシミュレーションする取組であり、自分の命を守るためにはどう行動すればいいのかを考える上での動機づけになる。 ・今年度、大規模水害想定訓練を実施したが、市民の皆さんにどう幅広く参加してもらえるかが課題である。来年度は昭和47年水害から半世紀となり、当時の記録や記憶を後世に伝え、気象災害などの危険と隣り合わせだということを啓発していく。市が所有するVR(バーチャルリアリティ)で、災害の疑似体験をすることができるので活用いただきたい。 ・先日、小学校の防災教育で自主防災組織の方に講師になっていただいた。子どもたちにも身近な地域の方が教えることは、とてもいい取組だと思う。また、避難訓練も消防団や防災士が関わって実施されており、充実した取組をされている。その取組が市内全域に広がればと思う。要支援者についても、試行錯誤で進めている。実効性がある、皆さんが続けていくことができる取組となるよう、ご意見をいただき改善してつくりたい。
基幹避難所について	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹避難所を、神杉コミュニティセンターから神杉小学校の体育館に変更したい。8月の長雨で、3世帯6名が避難されたが、そのうち2名は自力で2階まで上がることが困難な高齢者の方だった。体育館は多目的室に冷暖房が整備されており、防災委員の皆さんとも協議した結果、体育館を基幹避難所とさせていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹避難所の変更の件は学校側が了解であれば整理できる。 ・現避難場所でも簡易担架があれば、2階への避難の補助がしやすい。 ・要支援者については事務局長会議を行うので、その場でいろいろと意見をいただきたい。
内水被害等の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・内水被害がでないようにハード面の整備(河川の浚渫工事など)をお願いしたい。浚渫工事は安心につながる。堆積すればするほど災害の危険度は高くなる。 ・3年前に発生した三次環境クリーンセンター付近での土砂崩れはハザードマップと合致している。ハザードマップを元に、道路沿いに土砂崩れの可能性があることを示す標識が必要ではないか。 ・大雨により道が冠水する箇所にも標識を付けたいが予算がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神杉地区の内水対策として芋面川の浚渫と堤防のかさ上げを県に要望している。 ・全国的にも国(国土交通省)に対して浚渫工事の成果が報告されている。国も防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策で、防災についての予算措置をしており、できる限りハード面での整備を進め、市民の皆さんの安心・安全に資するよう取り組む。 ・ソフト面では流域治水の取組を進めようとしている。例えば、雨水をため池に一時的に貯留して内水被害を軽減させる取組などがあり、国(農水省や国土交通省など)と協議しながら市としても支援を考えたい。 ・ハード対策とソフト対策、そして地域の皆さんの意識が一致した上で取組を進めることが、三次の安全につながる。
役員の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治組織だけでなく自主防災組織の役員をするなど、役割が増え負担が大きくなるなどの不安がある。 ・28の集落ごとに昼夜で対応する人を決めて活動しなければならぬと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災の取組は広い。防災は日頃の地域のつながりが根底にあると思う。神杉では28箇所の集会所での活動があり、その活動が自主防災につながる。神杉の取組をモデルにして、防災意識の高揚にしていきたい。

令和3年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日： 11月25日(木)

会場： 神杉コミュニティセンター

2. 持続可能なまちづくりについてなど

項目	参加者の発言	市の発言
農地転用について	神杉地区は県内で最初に、ほ場整備事業をしている。しかし、ほ場整備事業を行っているために農地転用ができない。高齢化などの理由で休耕田になっている箇所も増えており、鳥獣被害の増加や草刈りへの負担が大きい。また、農地転用ができないため貸すことも売ることもできない。神杉地区は、移住希望者が多いことから、農地転用できるようにするなど検討していただけないか。	神杉地区だけではなく、他の地域でも同様の問題が出てくると思うので、今後の課題とさせていただきます。
コロナ禍での行事について	ここ2年間、コロナの影響で地域行事を開催していないため、まちづくりについて、住民の顔が見えていない状況である。神杉では、「ふれあい祭り」などの行事を開催する際、各常会から代表者に出てもらい自治会連合会の組織づくりをしている。今後も維持していくことが大事であり、会話や対話が重要である。年2回、横断幕をかけることや5月には寄付していただいた「鯉のぼり」を掲げるなど、自治会連合会として取り組んでいる。	今後は、コロナで元気がなくなった地域に、元気を与え、一人でも笑顔になってもらえるようなことが出来ないかと新年度予算編成をしている。事業者や市民の皆さんへの支援策を講じながら、元気が出るような取組をする。このコロナで皆さんが言われていることは、今まで当たり前であったイベントや行事が、重要だったと思う人も少なくない。地域に出ることの回数が少なくなったことに寂しさを感じる人がいるので、地域づくりがコロナで縮小することがないように全力で取り組んでいく。
まちづくりビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・神杉のまちづくりビジョンを見直す時期になり、第1回の実行委員会を開催した。メインテーマは「住んでよかった神杉」で、どうしたら「住んでよかった」と思われるか、他の地域から来て住んでいただけるかを中心に協議している。 ・集落支援員もいるので、今後の支援もお願いする。ビジョンの中に分析結果を入れていくこと、活動に生かしていくことでビジョンを見直し、人口を減少させないような方策をしていく必要がある。 ・神杉は他の地域ほど人口の減少率は大きくないので、できるだけ人口を増やせるよう今後も取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤山浩所長(一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所)の分析結果は、今後のビジョン策定にも役立つものである。神杉地区の特徴や強みなどを把握することで地域の活性化につながる。 ・平成30年度に分析され、それ以降の3年間の取組も踏まえて次のステップに進んだことで、各世代で人口の取戻しが進んでいるという地域である。 ・神杉は新しい住宅も増えている。先ほどの農地転用の規制緩和ができればさらにいい方向のきっかけになっていき、若い世代の定住が期待できる。今後も共有させていただきながら、一緒に汗を流せればと思う。
空き家バンク	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクに登録する際に片付けをする20万円の助成が昨年度まであったが今年度から無くなった。制度の周知が十分されていないから申請が少なかったのかなど、事業の検証はされたのか。広報は十分ではないと感じる。 ・空き家を片付ける際の代金は非常に高い。空き家バンクの制度がある以上、こういった助成は小さく維持してほしい。 	限られた財源の中で、制度を取捨選択しなければならない。事業を実施するうえで、期間を決めて費用対効果などを検証し精査することが必要である。情報発信の手段を増やしているのだから、きちんと皆さんに伝わっているのかを含めて、情報発信の仕方を検討していく。
地区担当者	危険場所の申請で市(土木課)へ行くが、地区担当者がいない。申請等の話をする際に、地区担当がいたら相談しやすい。	ご意見を参考にさせていただきます。
神杉駅開設100周年記念行事	令和4年11月20日に神杉駅が開設して100周年となる。記念行事の計画があり、JRの許可を得て、神杉駅の構内を使ってイベントをする予定である。今から実行委員会を立ち上げて準備をしているので、市(定住対策・暮らし支援課)と相談して進めている。色々なことで市の協力をお願いしたい。	-